

・真崎城跡（天神山）保全イメージについて

真崎城跡（天神山）のみどりの保全について地域住民の方々とともに、保全イメージ図(案)を作成し、保全を進めていくことを目的に、平成 26 年度から平成 27 年度にかけて地域住民の方々との真崎城跡（天神山）保全ワークショップが開催された。

その結果、植生・昆虫・鳥類・歴史などを学ぶ場として環境学習会等の活用など、その保全方法についてさまざまな意見が出された。

主な内容は以下のとおり。

記

1 今後の方向性

- ①地元の住民でできること、役場がやるべきことを、分けて考える。
- ②まず地域住民が保全しやすい基盤整備を行い、見通しがよくなってから次を考える。

2 今後の真崎城跡(天神山)での望ましい活動

- ①植生・昆虫・鳥類・歴史などを学ぶ場所として活用し、学習会などを開催する。
- ②タケノコ採りなど楽しみのあるイベントを開催する。
- ③利用者を増やし、維持管理に協力してもらう。

3 保全内容

- ①登り口の階段整備
- ②尾根筋の刈り払いによって通路を整備
- ③活動拠点となる広場を整備
- ④竹林の間引き
- ⑤尾根筋以外の通路整備
- ⑥枯死木、景観阻害木、過密林などの伐採
- ⑦ヤブツバキなど花木の植栽
- ⑧ベンチの設置
- ⑨案内板、標識の整備

4 保全イメージ図

